問 原子力関連企業を支援するのは、なぜか

答 村内の雇用確保は、原子力関連産業である

新政会　吉田　充宏　議員

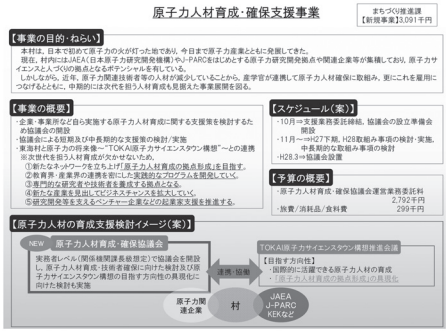
議員　まち・ひと・しごと創生の「しごと編」で、なぜ行政が原子力関連企業の雇用・人材育成の支援に至ったか伺う。

村長　東海村で雇用に結び付くのは、原子力関連産業である。今ある原子力施設を安全に支える人材を将来的に確保していくためにも、原子力発祥の地である本村で率先して行うべきである。

議員　なぜ、原子力関連企業に対し事前調査をしたか理解した。村長の答弁は、原子力関連企業に従事する者のモチベーションアップにつながる。TOKAI原子力サイエンスタウン構想で本村が決定できる事は少ないと認識している。村民に見える化を進めるべき。

村長公室長　原子力人材育成・確保の取り組みは、TOKAI原子力サイエンスタウン構想の具現化に向けたもので、構想の推進会議と連携して取り組む。将来的には原子力人材育成の拠点や新産業創出などの端緒となるよう進めたい。

議員　構想がスタートしたばかりで見直すことができないとの答弁と認識した。



問 水田の斜面緑地を望むヘルスロード整備を

答 住民と一緒に考える機会をつくっていきたい

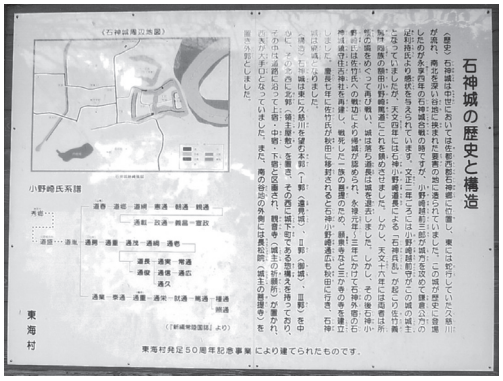
豊創会　村上　孝　議員

議員　水田の灌漑（かんがい）として利用されなくなった溜池からの用水路がひどい状態になっている。地主と土地改良区だけでは対応が難しい。村はどう考えているのか。

建設農政部長　村や国の維持管理や保全の補助事業を活用して、地域で維持管理してもらいたい。

議員　石神外宿、石神内宿、岡、白方などでは、用水路周辺の斜面緑地を村民の森に指定している。土地改良区、地域住民、行政、関係団体などで協議会を検討してはどうか。

村民生活部長　緑の保全を推進するにあたり、斜面緑地や農業用水路も重要な環境資源と捉えている。

議員　農の営みは多様な生物種を守り、社会、歴史、文化を創りあげ、多面的な機能を果たしてきた。豊岡なぎさの森から久慈川小段道路を経て、神社、寺、石神城址公園、古代遺跡等、周遊ヘルスロードにしてはどうか。

村長　自然を活用し、自分たちの生活を活かし、能動的に動かねばならない。住民の方々と一緒に考えていく必要があり、機会をつくっていきたい。